

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こどものデイサービスなないろぶち(多機能型：児童発達支援・放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 28日 ～ R7年 2月 14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日 ～ R7年 1月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・プレイルームやケアルーム、相談室、静養室等の各部屋は明るい雰囲気で、十分なスペースを確保しています	・着席する活動の前には、十分に身体を動かす時間を設定しています。5領域に沿ったねらいを明確にし、戸外活動や調理活動、りんご狩りや消防署見学等、幅広い活動が経験出来るよう工夫しています。	・幅広い視点でのアセスメント、支援の充実に向けて今後も新しい活動に挑戦していきます。また、これまでの取り組みや活動の継続もしながら子どもたちが楽しい環境の中で成功体験を詰めるよう支援を行っています。
2	・法令で定められた基準以上の人員と常勤看護師と兼任看護師を配置していますので、医療的ケア児の受け入れが出来る体制が整っています	・個別支援計画の他、5年以上の保育士が支援計画を立てて、専門的支援を実施しています。 ・医療的ケア児は主治医の指示書に従ってマニュアルを作成をしケアや記録を取っています。必要に応じて園に出向き、保育の付き添いやケアの実技指導をしています。	・今後も個別、小グループや小集団を組み合わせながらやってみたい、挑戦したいと思えるような活動を取り入れていきます ・必要に応じてマニュアルや記録事項の見直しを行っています。
3	・特性や状態に応じて個別対応をしお子様の意思を尊重したり、丁寧な関わりを持つことが出来ています。	・誰でも意思表示がしやすいよう感情カードの提示や手順書、予定表、絵カードの提示をしています。ペープサートやパペット等も取り入れながら子どもたちが興味が向くような関わりを持っています	・引き続き、送迎時に保護者様や園の先生方と出来たことや頑張ったこと、環境設定や支援内容について共有します

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）について	・ペアレントトレーニングを実施していますが、参加人数に限りがあり、困り感の強さや年長児等、参加にあたって調整しながらご案内させて頂いていることから、全ご家庭にご案内が出来かねている状況です。	・問い合わせや受講の希望があれば、いつでも対応できる体制を整えています。 ・ペアレントトレーニングに限らず、送迎時や面談時での助言や支援の共有を行います。
2	・保育園や幼稚園、児童クラブや児童館との交流について	・交流は出来かねています。当事業所は生活に密着した支援を行っており柔軟な利用時間、送迎対応が可能です。そのため曜日や時間帯によって変動があり、移動するための送迎車、人員配置、感染症対策の面で課題がある状況です。	・併行利用されている児童が多いため、当事業所では施設の一般開放（ななちゃれやバザー等）のイベントを通して地域のお子様と交流が持てる場の設定を行っています。今後も来場者が増えていくようイベントの継続、周知を行っています。
3	・マニュアルの周知について	・各マニュアルを策定し契約時にご説明をさせて頂くよう努めていますが、伝えそびれていたり説明の不十分さがあったと感じます	・各マニュアルをファイリングしており、常に確認出来るよう玄関に設置しています。わからないとご回答がありましたご家庭には再度ご説明を致します。